

本号のテーマ：「明るいニュース」

例年に比べ、異常に長く全国各地に大雨の被害をもたらした梅雨も、ようやく 8 月 1 日に明け、日差しが戻ってきました。

そんな中、新型コロナウイルスに関し連日暗いニュースが報道され、佐久市教育委員会や学校現場も本当に気の抜けない毎日が続いていますが、今号は敢えてそんな暗いニュースを封印し、明るい話題を取り上げたいと思います。

令和 2 年 7 月 31 日、佐久市立岩村田小学校竣工式が、地元の木材を豊富に使った屋内運動場で感染症予防対策のため規模を縮小して行われました。



岩村田小学校は、147年前の明治6年6月28日、「振育学校」として岩村田の龍雲寺で発足し、明治12年6月27日、岩村田学校と改称しました。明治22年11月、天神堂に校舎を新築し、岩村田尋常小学校、岩村田国民学校となった後、昭和22年に岩村田小学校として開校しました。

その後、昭和47年、現在地に移転し、昭和49年、新校舎落成記念式典が挙行されました。

今回の全面改築は、当時児童数が千人を超える長野県下でも有数のマンモス校となっていることを解消する為でもあり、分離新設した佐久平浅間小学校は平成27年4月1日に開校しています。

新しい岩村田小学校は、平成24年に地質調査を開始以来、多くの皆様の努力や協力により、8年の歳月をかけ全て完成し、昭和49年以来、実に46年振りの竣工式となりました。

式典は、榑澤晴樹教育長の開式のことばで始まりましたが、教育長は平成23年～平成25年まで岩村田小学校の校長として、新校舎建設の準備等に関わってこられたので、喜びもひとしおだったことでしょう。

あいさつの中で、教育長が校長時代に児童たちと作った「岩小かるた」の「す」で始まる絵札を示し、その読み札を知っていますか？と問いかけたところ、ひとりの女子児童が手を挙げて、「すごいでしょ千人を超えるお友達」です。と答えました。

会場からは大きな拍手が巻き起こりましたが、感染症防止のため2～6年生の各クラス2名以外は教室でリモート参加をしており、その児童たちも大きな拍手を送ったことでしょう。

開式のことばに続き、柳田清二市長式辞、神津正市議会議長祝辞、栗林校長あいさつ、児童会長あいさつがあり、感動的な式典を終了しました。

私個人としては、久しぶりの明るい話題の現場に立ち会えたことに感謝する次第です。

末筆となりましたが、来賓として神津正市議会議長、井出浩司市議会総務文教委員長、地元の小林貴幸市議会議員をはじめ、通学区の区長の皆様、そして建設に携わった多くの企業の皆様にご臨席を賜り、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

